

京都教育大学における WWW メールへの不正アクセスによる学外への多量迷惑メール送信について

2016年8月5日
情報システム総括責任者
岩村 伸一

この度、国立大学法人京都教育大学(学長:細川 友秀)の WWW メールサービスが不正アクセスされ、学外への多量の迷惑メールが送信されるという事案が発生しました。メールを受信し、不快な思いをされた皆様にお詫び申し上げます。今回不正アクセスされた WWW メールサービスおよび学内の他のサービスからの、個人情報の流出の痕跡はありません。

大学としての利用者に対するセキュリティ教育が徹底していなかったことを深く反省しております。今後、法人として、利用者の情報セキュリティ意識の向上に努めるとともに、不正アクセスの防止に向けてシステムのさらなる強化に努めてまいります。

1. 事案の概要

2016年7月15日と7月19日に、本学が提供する WWW メールサービスが不正アクセスを受け、学外の約230万のアドレス向けに、迷惑メールが発信されました。不正アクセスの原因は、本学あてに送信されたフィッシングメールのリンクを2名の利用者がクリックし、自分の ID とパスワードを入力したことでした。送信された迷惑メールにはリンクや添付ファイル等は存在せず、受信者がウィルス感染等の被害を受けるおそれはありません。

2. 緊急対応

不正アクセスを受けたアカウントをロックし、現在迷惑メールの送信は停止しております。また学内のすべての利用者に対して、一括送信メールにより緊急の注意喚起を行いました。

3. 今後の対応

今後、本学の教職員ならびに学生に対し、模擬的な標的型メールを用いた訓練を実施するなど、セキュリティ研修を強化するとともに、学外からの WWW メールサービスの利用方法を見直し、不正アクセスを防ぐ仕組みを導入する予定です。

【お問合せ先】

担当部署:京都教育大学情報処理センター

電話番号:075-644-8340(直通)

開設時間:午前9時～午後5時まで(土・日・祝日を除く。)

メールアドレス:ipc@kyokyo-u.ac.jp